

第1章 花のつくりとはたらきを調べよう③

マツの花

マツも種子植物であり、種子で子孫を残す。しかし、マツにはアブラナやサクラのような花は見当たらない。下の写真はマツの花であり、先端に雌花があり、下のほうに雄花がついている。

課題 裸子植物の花はどのようなつくりをしているのだろうか？

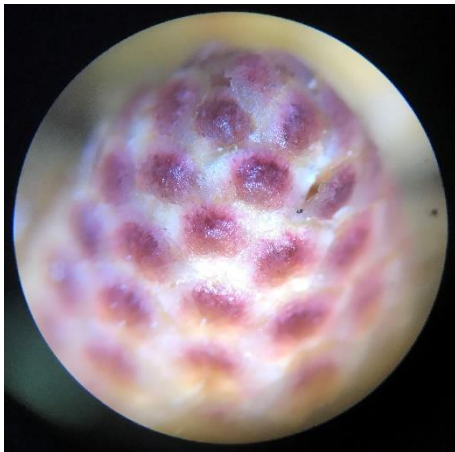
観察3 マツの花のつくり

- ① 花を観察(肉眼・ルーペ・双眼実体顕微鏡で)する。
⇒がく、花弁、おしべ、めしべなど、どうなっているだろうか
- ② りん片をはずし、ルーペなどで観察してスケッチする。
⇒特別なつくりがあるだろうか
- ③ 被子植物の花のつくりと比較する。
⇒共通点(共通するつくり)や相違点(異なるつくり)があるだろうか

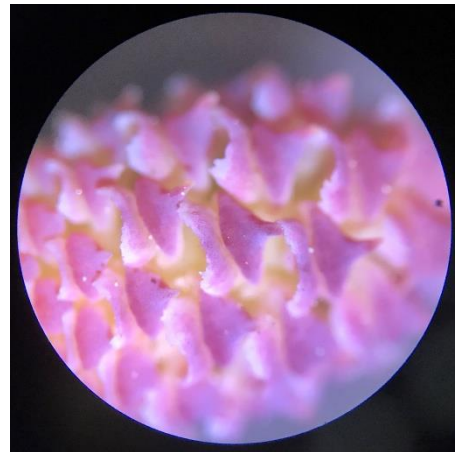


● マツの花

〔雄花〕



〔雌花〕



● マツのスケッチ

〔雄花のりん片〕



〔雌花のりん片〕



(気づいたこと)

- ・花卉やがくがない。
- ・うろこが集まったような形をしている。
- ・雌花のりん片の方が小さい。 など

結論(課題に対して考えられること)

- ・裸子植物は雄花と雌花があり、りん片が集まっている。
- ・りん片には花粉のうと胚珠がついている。
- ・花粉が直接胚珠に受粉する。 など

〔まとめ〕

種子植物のうち、マツやスギのように、胚珠がおきだしのなかまを(**裸子植物**)という。

春の晴れた風の強い日にマツやスギが花粉を出しやすいのは、被子植物とちがい、受粉に(**風**)を利用しているからである。

Point 裸子植物の『裸』は間違いやすいので注意しよう！

裸子植物

裸子植物